

血斗水滸傳 怒涛の対決 (1959)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1959/08/09

【解説】

峰岸義一の小説『丁半』を原作として「独眼竜政宗」の高岩肇が脚本を書き「旗本退屈男 謎の大文字」の佐々木康が監督。「天保水滸伝」の映画化で、東映のオールスターキャストが顔をそろえた。

飯岡助五郎一家と笹川繁蔵一家は利根川をはさんで対立していた。助五郎はことあるごとに繁蔵一家にちょっかいを出し、それが元で争いが絶えなかった。国定忠治が花会を開催するが、助五郎は仮病で欠席。怒った忠治は助五郎にむりやり繁蔵との和睦を承知させ手打ち式を済ませるが、助五郎のいやがらせはとどまることを知らなかった。ついに繁蔵の怒りは頂点に達し、一家を挙げて助五郎一家を倒すことにするのだが…。

【クレジット】

監督 佐々木康

企画 坪井与

坂巻辰男

田口直也

玉木潤一郎

原作 峰岸義一

脚本 高岩肇

撮影 三木滋人

美術 川島泰三

音楽 山田栄一

出演 市川右太衛門

中村錦之助

大川橋蔵

東千代之介

美空ひばり

長谷川裕見子

丘さとみ

大川恵子

里見浩太郎

若山富三郎

大河内伝次郎

山形勲

進藤英太郎

月形竜之介

大友柳太朗

